

文化財の部門	天然記念物	文化財の種別	記念物
文化財の名称	慶祥寺のケヤキ	員 数	1 本
概 要	<p>分 類：ケヤキ（ニレ科ケヤキ属） 樹 高： 2 4 m 幹 周 り： 7. 8 m 枝 張 り： 3 0 m 樹 齢：推定 5 5 0 年</p> <p>本ケヤキは、慶祥寺の境内木です。樹高は 2 4 m、幹周りは 7. 8 m、根周りは 1 4. 3 m あります。2 0 2 0 年 9 月 現 在、本 市 指 定 の ケ ヤ キ は、矢 島 地 域 の「八 幡 神 社 欒」（樹 高 3 1 m、幹 周 り 4. 8 m、樹 齢 推 定 4 0 0 年）、西 目 地 域 の「瀧 保 八 幡 神 社 の ケ ヤ キ」（樹 高 1 8 m、幹 周 り 5. 7 5 m、樹 齢 推 定 7 7 0 年）、鳥 海 地 域 の「大 久 保 の ケ ヤ キ」（樹 高 1 2 m、幹 周 り 2. 7 m、樹 齢 推 定 2 5 0 年）の 3 本 だ が、本 ケ ヤ キ の 幹 周 り は、現 在 確 認 さ れ て い る 本 市 の ケ ヤ キ の 中 で 最 大 で あ り、突 出 し た 大 き さ で す。ま た、県 内 他 市 町 で 指 定 さ れ て い る ケ ヤ キ 1 7 本 の 平 均 樹 高 は 2 3 m、幹 周 は 6. 8 m で、こ れ ら と 比 較 し て も、慶 祥 寺 の ケ ヤ キ の 大 き さ は、県 内 他 市 町 の 指 定 ケ ヤ キ の 平 均 を 上 ま わ っ て お り、遜 色 な い も の と い え ま す。</p> <p>本ケヤキのある慶祥寺は、中世の在地領主である由利氏の菩提を弔うため、由利仲八郎政春の姉、瑞雲慶祥比丘尼が正和年中（1312～1317）に米山の栗山に建立した「慶祥庵」に由来します。慶長8（1603）年に滝沢郷の領主となった由利政春の後裔、最上氏家臣の滝沢兵庫守政道が、城下町建設に伴い、慶長13（1608）年に慶祥庵を前郷文殊屋敷と称する現地に移し、慶祥寺としました。慶祥寺はその滝沢氏の菩提寺であり、本市を代表する名刹のひとつです。</p> <p>以上から、慶祥寺のケヤキは、その大きさを市内最大の幹周りをもつ、本市を代表するケヤキだといえます。また本ケヤキは、説明標柱を設置するなど、保存樹として、慶祥寺及び檀家、地域住民が保護に努めている樹木です。</p>		
所 在 地	由利本荘市前郷字寺の下 2 7（慶祥寺境内）		



慶祥寺のケヤキ